

会派みらい 政務調査報告（後期）

未来デザイン2028 時点修正への提言

～R5年度代表質問を皮切りに～

問題提起

- ・展望した人口は維持できていない状況と急激な高齢化社会
- ・コロナ禍を経た社会の変化
- ・リニアの開業時期が不透明

総合計画の見直し（時点修正）が必要ではないか

管外視察・研修

① オンデマンド交通（茅野市ほか）

② 自治組織の見直し（上田市）

<番外編> 地方議会フォーラム

オンデマンド交通

○ 議会報告・意見交換会での最も多い声

「どこに行くにも必要になる
足の確保をしてほしい」



もっと利便性に配慮した交通サービスの導入を検討すべき



福祉と公共交通の両面から見る

AIオンデマンド交通

行きたい時に、行きたい場所へ、電話やスマホアプリで呼べる新しい「公共交通」

「みんなの移動を、もっと自由に」

タクシーよりも不便だけど、安心価格。
路線バスと同じ乗合だけど、乗れる時間も乗降場所も格段に多い。

・ 安曇野市

あづみん/のるーと安曇野



令和6年1月30日実施

・ 茅野市

のらざあ

小平議員 市瀬議員 とともに

令和6年1月31日実施



オンデマンド交通(安曇野市)



オンデマンド交通
あづみん
のるーと安曇野
ご利用案内

あづみんの特徴
「ドアツードア」とは…
ご自宅の玄関先などの乗降する場所から目的地の扉まで送迎します。道中や目的地で下車し、ご利用は終了です。

乗りたい時に電話やアプリで予約すると、安心して乗望する目的地まで送迎します。
乗り場・行き先は希望する場所をご指定ください。
土日・祝日・年末年始は運休します。
大雪・台風等の場合は運休することがあります。

利用の流れ

1. 予約
2. 乗降場所の指定
3. 乗降場所まで送迎
4. 目的地まで送迎
5. 目的地で下車
6. 乗降場所まで送迎
7. 目的地まで送迎

オンデマンド交通(安曇野市)

安曇野市オンデマンド交通 **あづみん/ のらざあ** と安曇野 運行エリア

1回の乗車でどこまで行ける?

- 穂高から乗車**
穂高地域内から穂高地域内へ
穂高地域内から豊科共通乗合エリア内へ
穂高共通乗合エリア内から明科地域内へ
- 明科から乗車**
明科地域内から明科地域内へ
明科地域内から豊科共通乗合エリア内へ
明科地域内から穂高共通乗合エリア内へ
- 穂高共通乗合エリア**
1乗車で明科地域との行き来ができます。
- 明科共通乗合エリア**
1乗車ですべての地域との行き来ができます。
- 三郷から乗車**
三郷地域内から三郷地域内へ
三郷地域内から豊科共通乗合エリア内へ
三郷地域内から JR 梓川駅へ
- 豊科から乗車**
豊科地域内から豊科地域内へ
豊科共通乗合エリアから市内全域へ

●同一エリア内の豊科共通乗合エリア内への移動は、1乗車 300円で利用いただけます。
●他エリアへの移動は、共通乗合エリア内で乗換を繰り返せば、2乗車分 600円で利用いただけます。
●乗りエリア内であっても、運行できない場所や時間帯等によって乗入れできない場合があります。
●エリアの運行状況に関する最新情報は、開通するご自身のエリアからも1乗車 300円で利用いただけます。

オンデマンド交通(茅野市)



乗降場所について

乗降場所は

- 指定された場所へ全員を送迎すると乗り合い効率が低下するため、利用者に少しずつ歩いてもらい、効率良く運行するため乗降場所を設置しています。
- 乗降場所は、長くても350メートルほどの間隔で設置され、停留所と仮想停留所があります。

停留所は

- 茅野駅(西口)、市民館前、市役所、諏訪中央病院、主な商業施設の敷地内に設置しています。「のらざあ」と表示されたバス停があります。

仮想停留所は

- 現地にバス停などの目印はありません。
- アプリ上では、予約する時や乗車の30分前から確認できます。



オンデマンド交通(茅野市)



自治組織の見直し

- ・ 地域自治組織は、この先の後期基本計画の中で導入20年目の大きな節目を迎える
- ・ 市民から寄せられる課題や悩みや問題意識をもとに、コロナ禍を経て様々な経験をした今、いよいよ、その改革を進める時期にある

上田市・自治組織の見直し

自治会などに選出を求めている「委員」や「推進員」といった役職者について、一部を廃止したり、人数や負担を減らしたりする方針を示した

2026年度までに順次見直す

自治組織の見直し(上田市)

- 視察日：R5年11月8日
- 視察先：上田市 市民まちづくり推進部
課長 堀内優市 氏



自治組織の見直し(上田市)

経過

自治会連合会が5年前から「自治組織の在り方研究会」を立ち上げ、市に提言をしたことを受けて、2023年10月、市としての方針を示した

【連合会の提言】

活動そのものや、なり手探しの負担が重い。形骸化しているものもある。

自治組織の見直し(上田市)



市が自治会や自治会連合会に依頼している各種委員のあり方について説明

「上田市市政三者懇談会」(自治会・市・議会) R5.10.2

自治組織の見直し(上田市)

○見直しする事業：7部局 16事業

- ①委員を廃止 3事業
- ②委員は残すが自治会に依頼を行わない 5事業
- ③依頼はするが負担を軽減 7事業
- ④引き続き協議、改善 1事業

自治組織の見直し(上田市)

○具体的な見直し(一例)

- ・ 人権同和教育推進委員と青少年育成指導員を廃止し、市が企画・支援
- ・ 環境美化監視員(不法投棄パト)を廃止し、市職員や委託業者が担う
- ・ 交通指導員など5つの役職は自治会に選出を求めず、市が公募や依頼で確保

自治組織の見直し(上田市)

•上田市の自治会加入率は平均87.6%。飯田市の約70%とは単純に比較はできないものの、この主な背景には、自治会側も住民側も「自治会加入を当然視する通念がある」との長野大学による分析がある。

•上田市における組織の見直しに向けた取組みの大きな特徴として、上田市自治会連合会が、今から5年前に「自治会在り方検討会」を、連合会・自らが立ち上げて検討を重ねてきている。

自治組織の見直し(上田市)

【考察】

「自治会加入を当然視する通念がある」との長野大学の分析は、当たり前のように重要な視点だと感じた。飯田市自治基本条例への理解が、そこに通じるのではないか

•飯田市も組織の見直しに着手することが迫られる。

•「組織の見直し」と同時に、飯田市自治基本条例の学び直しが求められる。

政策サイクル推進地方議フォーラム



政策サイクル推進地方議会フォーラム

(テーマ)

ミライの議員・議会のために

～住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル～

日時: 令和6年2月3日～4日

会場: 日本生産性本部 全国町村会館

内容: (分科会)「議会(事務局)局の確立を」

(講演①) 江藤俊昭(大正大学教授)

(講演②) 大杉 覚(東京都立大学教授)

(実践報告) 林 晴信(兵庫県西脇市議会議員)

出席: 井坪 隆 議員

政策サイクル推進地方議会フォーラム

■ 議会事務局の確立について

- ・「地方議会評価モデル」で、取り組むべき課題として、「事務局体制の充実、強化」が挙げられた

■ 住民福祉の向上を目指す議会と、コミュニティ自治について

政策サイクル推進地方議会フォーラム

江藤先生



西脇市議長

政策サイクル推進地方議フォーラム ＜分科会「議会(事務局)局」＞

「議会からの政策サイクル」に伴走する議会(事務局)局像の確立を

- ・議会事務局、議員側ともに依然として「議員のお世話係」意識から脱却できないケースが多く、議員と職員の関係は必ずしも健全とは言えない議会が少なくない。

「事務」の領域を明らかにすることで議員と職員の関係をより健全なものとする

政策サイクル推進地方議フォーラム ＜分科会「議会(事務局)局」＞

提言 (フォーラムから全国市議会議長会などへ予定)

- ①議会事務局のタイプは、「積極補佐型(役に立つ)・
「能動提案型(行動する)」を目指す
- ②議会と事務局の関係は、「支援」「協力」「参加」に
- ③事務局職員の人事異動のルール化(議長の任免権行使)
- ④事務局の組織目標の明確化
- ⑤事務局職員の独自採用を
ほか

政策サイクル推進地方議フォーラム ＜分科会「議会(事務局)局」＞

まとめ

住民福祉の向上を図るには、「議会からの政策サイクル」のバージョンアップが必要であり「チーム議会」を構成する議会事務局職員の積極的な参画が求められる。

飯田市議会の評価モデルの取組みから、「**議会事務局の強化**」が課題とされた。そのための体制や在り方について議会改革推進会議等での議論に寄与すべく会派としても関わる。

政策サイクル推進地方議フォーラム

講演「コミュニティ自治とミライの議会」より (大杉 覚 東京都立大学法学部教授)

崩壊する地域コミュニティと議会の在り方について、現状分析と今後の在り方が語られた。新型コロナの感染拡大を経て、**コミュニティの運営に意欲ある層、高齢者層**においてさえ、その意欲が激減しているという、アンケートによる実態調査したデータには、衝撃を受けた。

飯田市においては令和6年度、自治基本条例の学び直しに関する事業が行われるにあたり、**コミュニティ自治とミライの議会**について、会派としても研究を深めたい。

政策サイクル推進地方議フォーラム

実践報告「議会は住民自治のプラットフォーム」より
(林 晴信 兵庫県西脇市議会元議長)

年に40回以上の「議会と語ろう会」を開催。
定期的に「監査報告会」を開催し、議会選出の監査委員が意見を述べる制度にしている、とのことであった。

飯田市議会においては、定期的に、あるいは必要に応じて予算決算準備会に議会選出の監査委員の出席を求め、審議の充実を図る制度を、会派として研究したい。

ご清聴ありがとうございました



会派みらい